

《生物多様性に関する事業者アンケート 集計結果》

＜調査概要＞

調査対象：福岡市内の事業者 255 社

調査方法：郵送方式

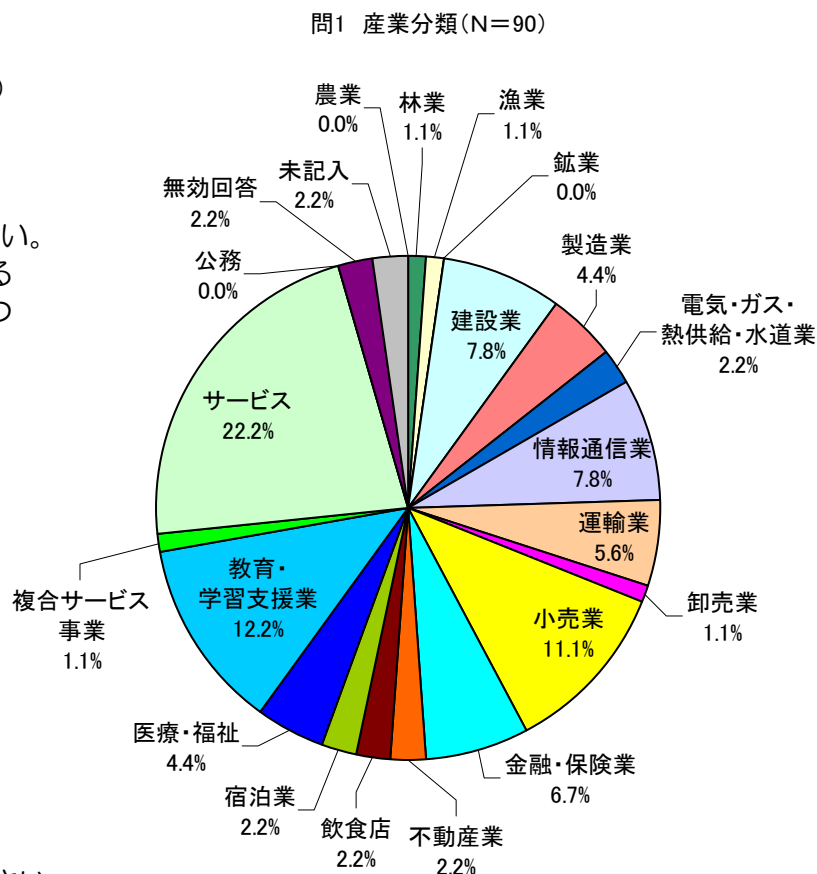
調査期間：平成 23 年 6 月～7 月

回収結果：90 （回収率：35.3%）

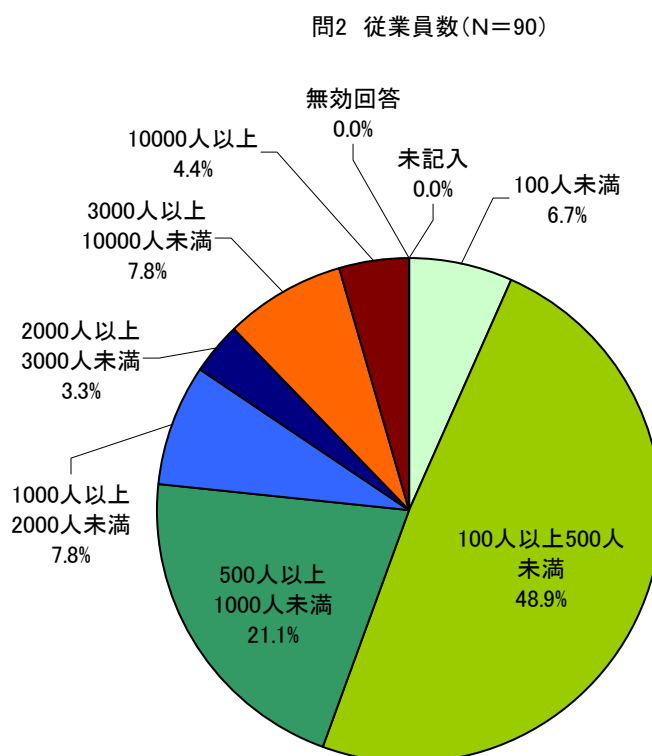
＜設問A：事業所のプロフィール＞

問 1 貴組織の名称を記述してください。

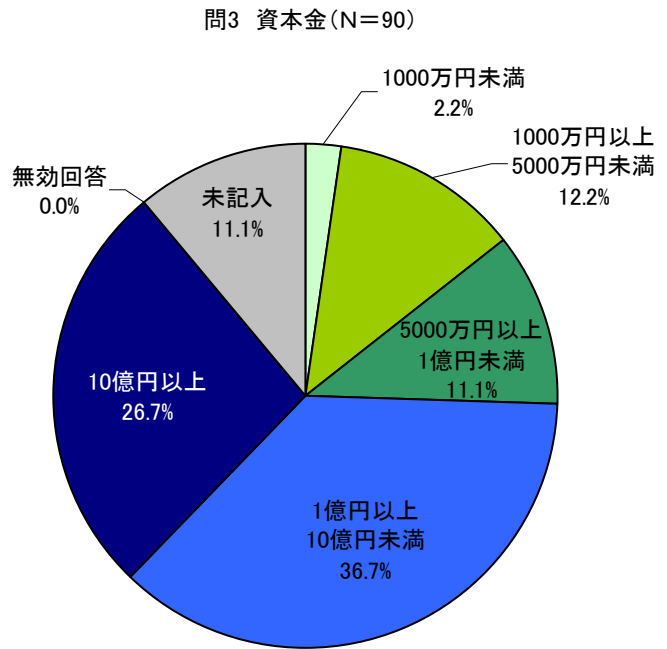
また、あわせて貴組織が該当する業種を下記の産業分類からの 1 つ 選択してください。



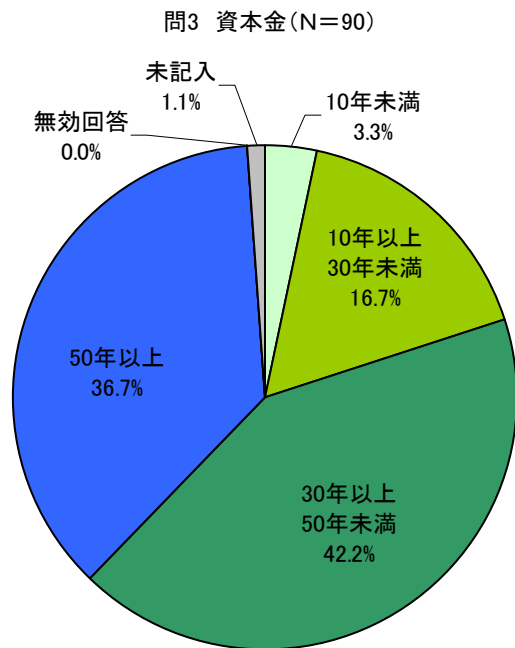
問 2 貴組織の従業員数を記述してください。



問3 貴組織の資本金を記述してください。



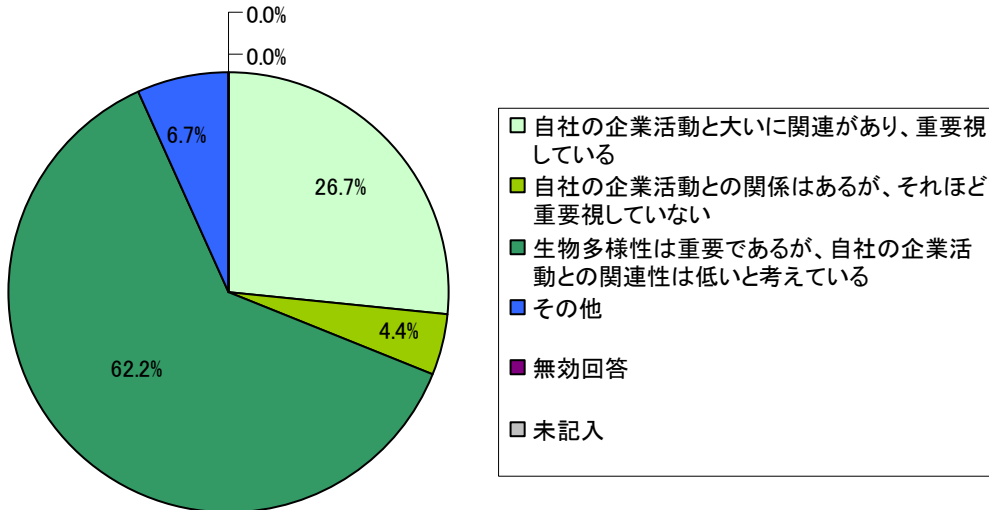
問4 貴組織の福岡市内における事業継続年数を記述してください。



<設問B：生物多様性・生態系サービスに関する意識・理解度>

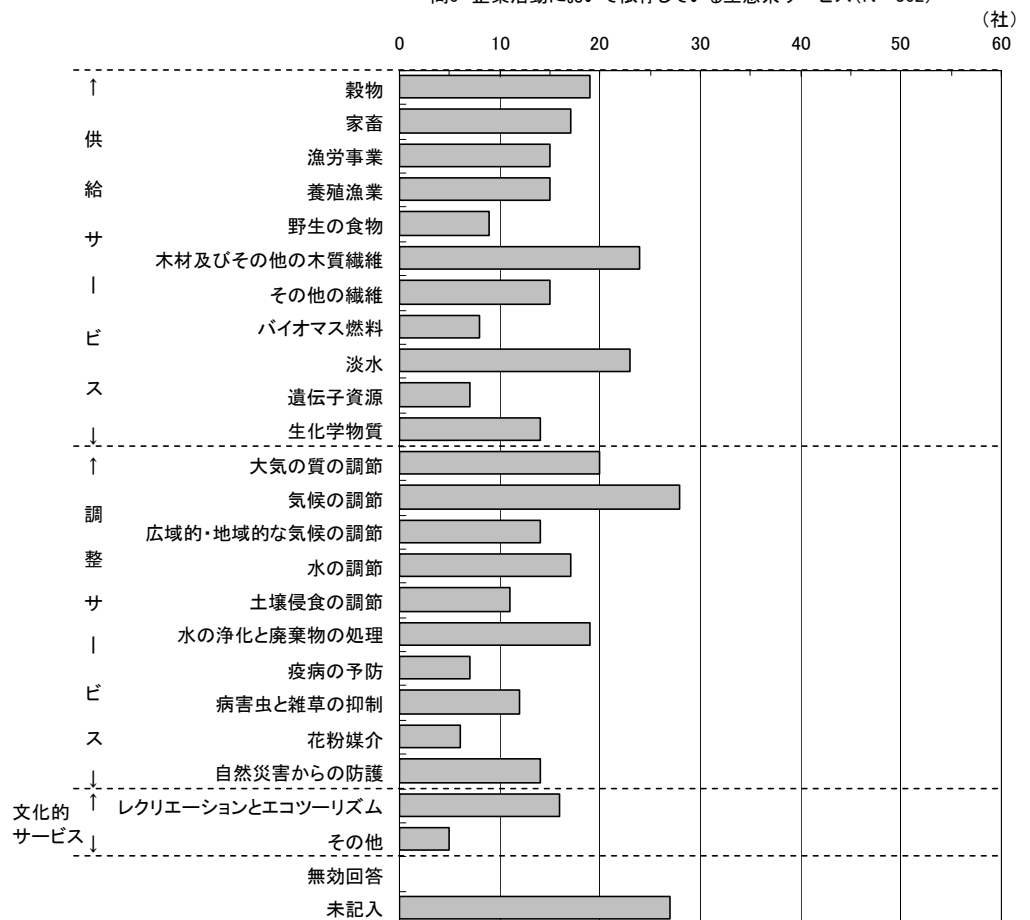
問5 生物多様性^{※1}の保全への取り組みと事業（企業）活動のあり方について、貴組織の事業（企業）活動と生物多様性の保全への取り組みとの関連性として当てはまるものを下記より1つだけ選び、番号に○をつけてください。

問5 企業活動と生物多様性の関連性 (N=90)

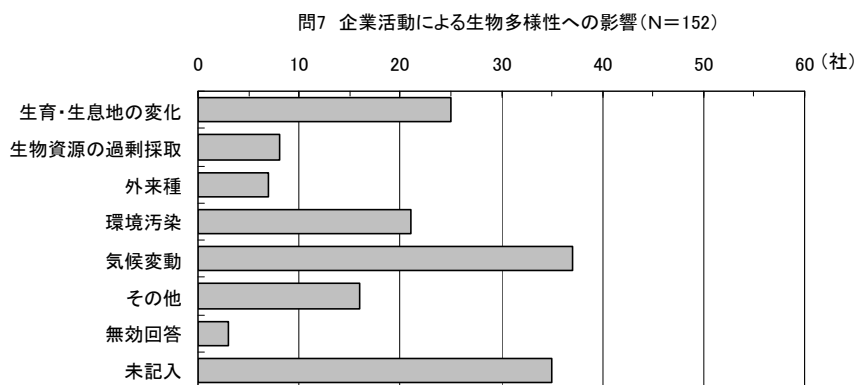


問6 貴組織の事業（企業）活動において依存している生物多様性の恵み（生態系サービス^{※2}）について、当てはまるもの全てに○をつけてください。

問6 企業活動において依存している生態系サービス (N=362)



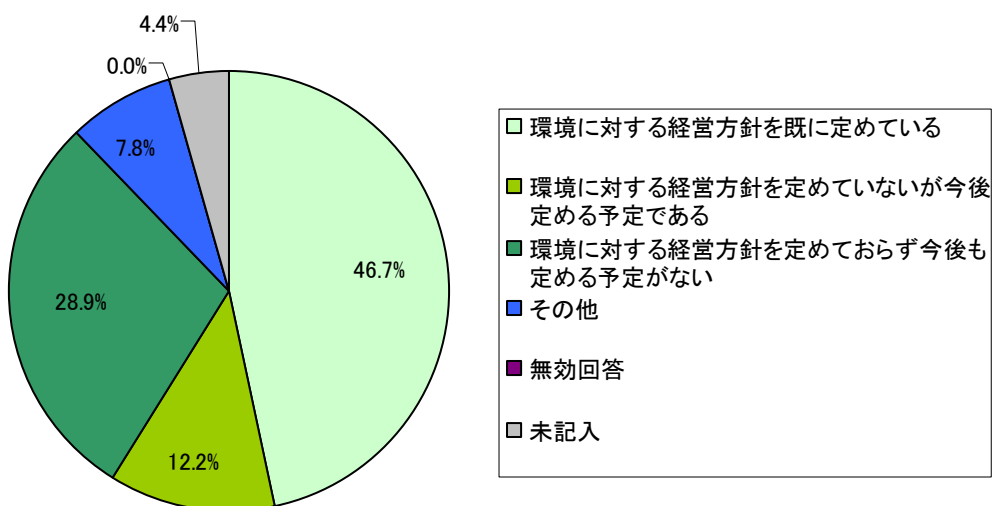
問7 貴組織の事業（企業）活動による生物多様性への影響^{※3}について、当てはまるもの全てに○をつけてください。



<設問C：事業活動における生物多様性に関する取り組み状況>

問8 貴組織の環境に対する経営方針の設定状況について、当てはまるものを下記より1つだけ選び、番号に○をつけてください。

問8 環境に対する経営方針 (N=90)

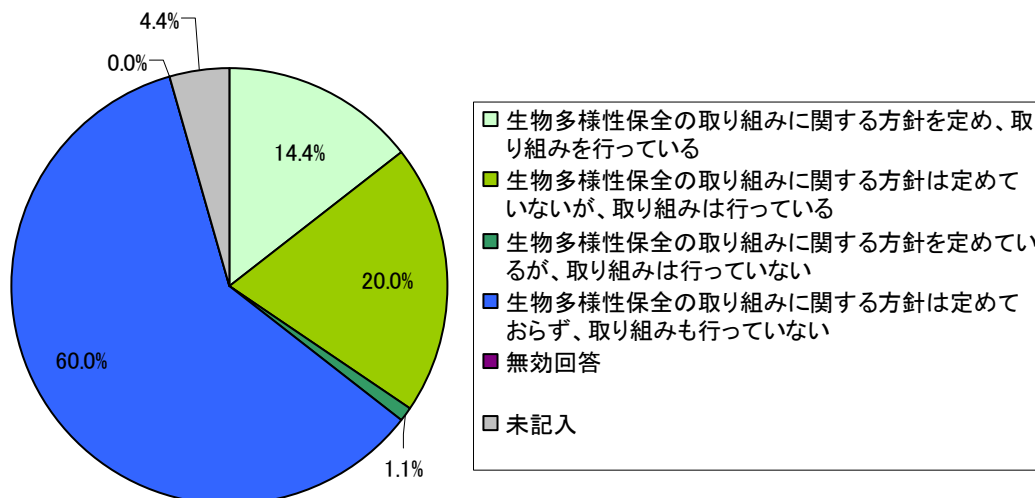


【問8 その他-記述】

- ・ 未確定
- ・ まずは勉強が必要と考えています
- ・ 平成23年度予算基本方針に「エネルギー使用の合理化を推進し、その利用量を前年比1%削減に努める」

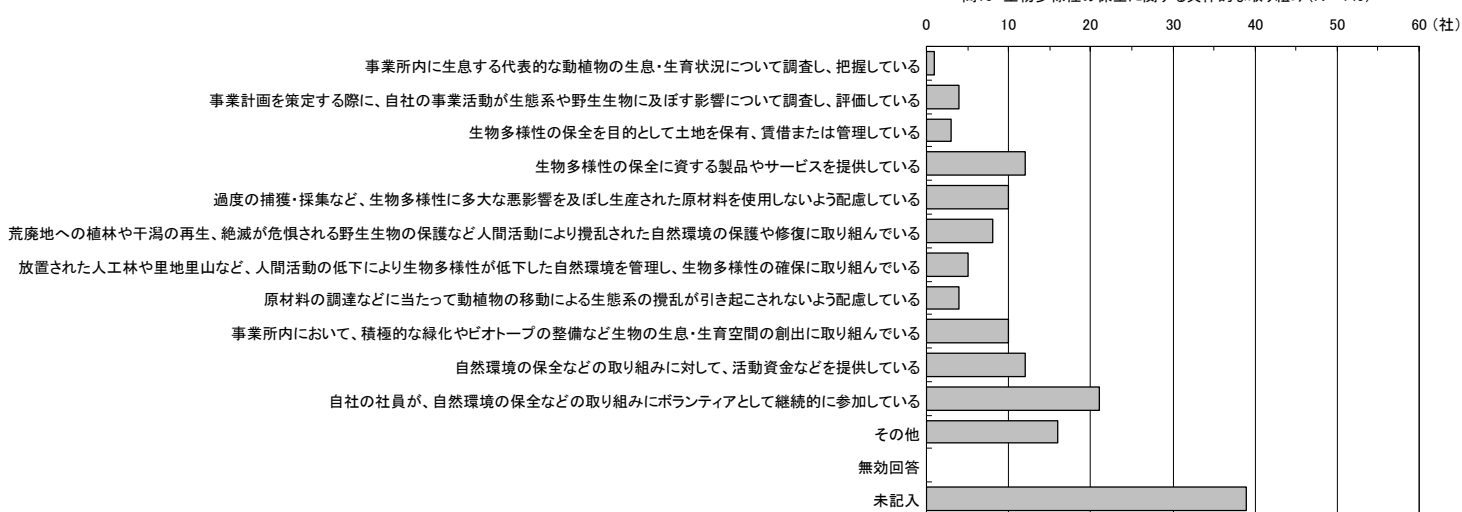
問 9 貴組織の環境に対する経営方針もしくは事業（企業）活動の中での生物多様性の保全への取り組みについて、当てはまるものを下記より 1 つだけ選び、番号に○をつけてください。

問9 生物多様性の保全への取り組み(N=90)



問 10 貴組織の行っている生物多様性の保全に関する具体的な取り組み内容について、当てはまるものを下記より全て選び、番号に○をつけてください。

問10 生物多様性の保全に関する具体的な取り組み(N=145)



【問 10 その他-記述】

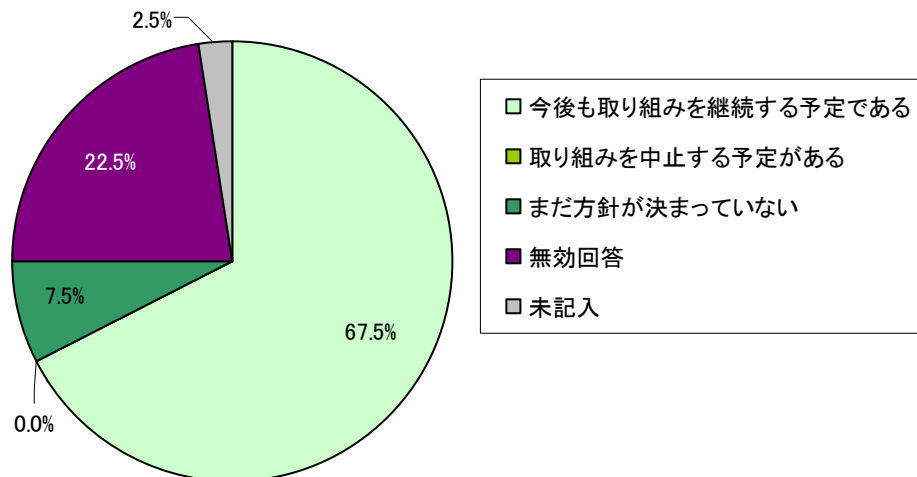
- ・ 樹林管理業務を遂行する中で自然体系の保全に努めている
- ・ 社外を対象とした自然体験教室の開催
- ・ 会社でボランティア含めた活動を推進している
- ・ アイドリングストップ、電気をつけっぱなしにしない！
- ・ 屋上、構内緑化の取組
- ・ 該当なし
- ・ 特に取り組んでおりません。
- ・ 生物多様性の保全活動を行う団体への寄付を組み合わせた商品を発売している
- ・ 地球温暖化防止のための CO2 削減活動に継続的に取り組んでいる
- ・ 特に無し
- ・ ゴミの量を減らすよう心掛けている
- ・ 具体的な取り組みは行っていない。
- ・ ラブ・アース・クリーンアップに参加している
- ・ 特になし

<設問D：今後の事業活動における生物多様性に関する取り組みの可能性>

問 11 貴組織の今後の生物多様性の保全及び利用に関する取り組み意向意思について、当てはまるものを下記より1つだけ選び、番号に○をつけてください。また、その理由も合せて記述してください。

①既に取り組みを行っている事業所（問9で1 or 2と回答された場合にご回答下さい）

問11① 生物多様性の保全及び利用に関する取り組み意向意思 (N=40)



【問 11①継続予定-理由】

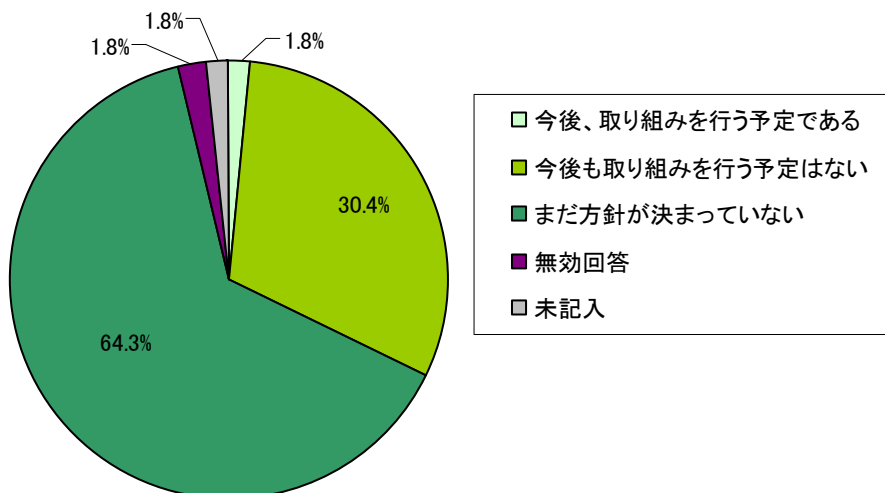
- ・ 世界の環境保全のため
- ・ 環境経営の一環として
- ・ 企業の社会的責任である
- ・ 当社グループ全体で取り組むため
- ・ CO2 減少含め、目標を決めた活動を継続
- ・ グリーン経営の取得
- ・ 環境への配慮は企業にとって社会的責任と認識
- ・ 持続可能な社会の構築に参加するため
- ・ 人類に与える影響が大きい為
- ・ 社会的責任
- ・ 地球環境保護のため重要であるから
- ・ 重要な問題と考えるため
- ・ ISO14001 を維持し、継続的に改善する
- ・ 西鉄グループの中期経営計画に入っているが具体策が明確にされていない
- ・ 環境保全のため
- ・ 芝生の理念に基づく
- ・ 企業市民として

【問 11①方針未定-理由】

- ・ 震災の影響で市場が安定していない為

②現在、取り組みを行っていない事業所（問9で3or4と回答された場合にご回答下さい）

問11② 生物多様性の保全及び利用に関する取り組み意向意思(N=56)



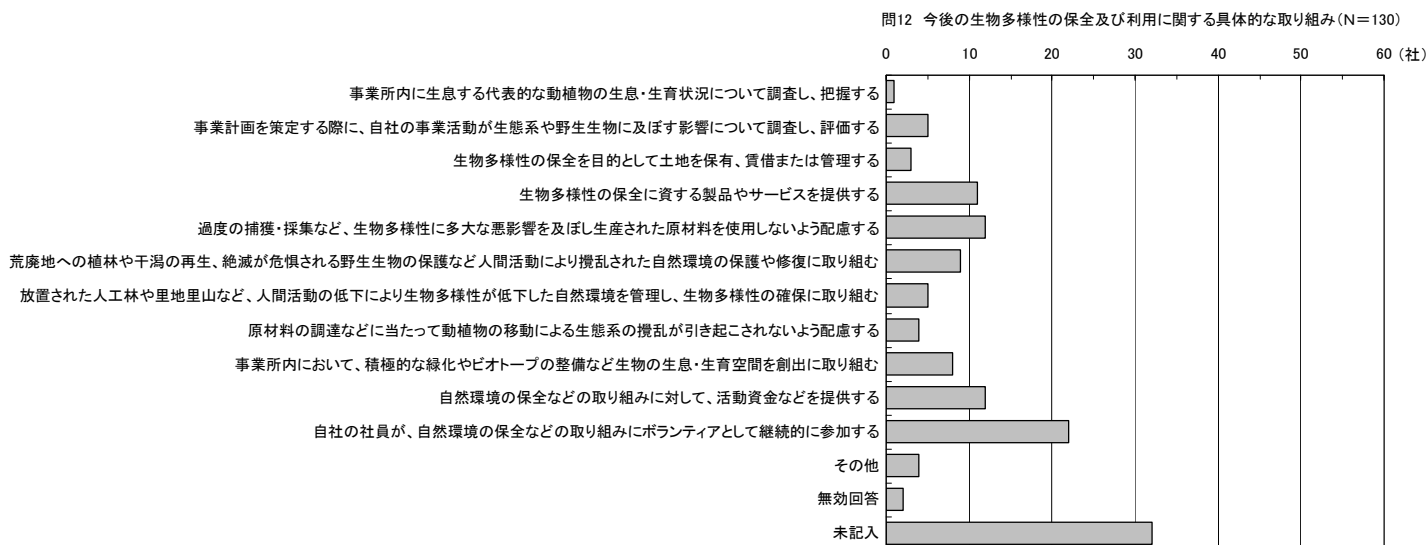
【問11②予定なし-理由】

- ・ 関連性が薄い
- ・ 金融業において直接的該当項目がない
- ・ 直接業務に影響を及ぼさない
- ・ 持株会社に目的変更の為、主な事業活動なし
- ・ 自社の企業活動と関連性が低いと考えているため
- ・ 関連性が低いため
- ・ 事業との関わりが薄いため
- ・ 生物多様性と事業内容の結びつきがない

【問11②方針未定-理由】

- ・ 当社の事業において該当しないと思われるため
- ・ 具体的な内容がよくわからない
- ・ 検討していない
- ・ 社内で認識が不足している
- ・ 検討中であるため
- ・ 取り組みに対する認識不足
- ・ 自社事業との関連性が低い為
- ・ 生物多様性に特化せず、環境のための取り組みを方針としているため
- ・ 生物多様性に関する業務がない為
- ・ 特に無し
- ・ 事業に該当しない
- ・ 学園事業活動について策定中
- ・ 業務との関連性が低い
- ・ 生物多様性に対する認知度が低く、検討するに至っていない。
- ・ 知識がない
- ・ 生物多様性は重要であるが、自社の企業活動との関連性が低いため

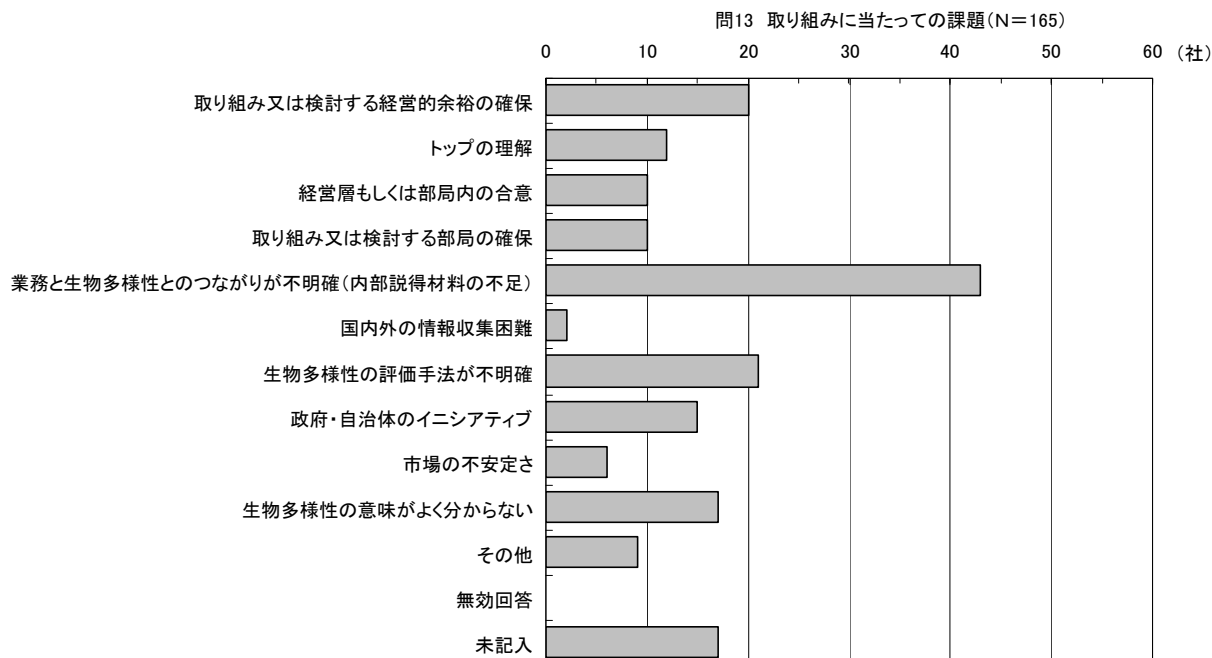
問 12 貴組織における今後の生物多様性の保全及び利用に関する具体的な取り組み内容として想定される内容について、当てはまるものを下記より全て選び、番号に○をつけてください。
(問 11-①及び②で「1」と回答された方のみご回答下さい)



【問 12 その他-記述】

- ・ アイドリングストップなど
- ・ 地球温暖化防止の為に CO₂ 削減活動に継続的に取り組んでいる
- ・ 環境に優しい建機等の導入、レンタル

問 13 貴組織において生物多様性の保全及び利用に関する取り組みを行うにあたり、課題となる事項として、当てはまるものを下記より全て選び、番号に○をつけてください。



【問 13 その他-記述】

- ・ ボランティア参加者の確保
- ・ 必要性が浸透しない
- ・ 資金
- ・ 取り組みの場面に達していないため
- ・ 業務と直接つながっていないと思われる

問 14 前項「問 13」の課題を改善するために、今後必要と考える対策について記述してください。

※「・」1 つにつき、1 社の記述意見となっています。

【問 14 自由記述①】

- ・ 情報提供
- ・ 弊社は、「地球環境保全が重要な使命であることを認識し 事業活動を通じて環境共生の事業時代の創造に貢献する」ことを経営理念の一つに掲げ、毎日の朝ミーティングで社員が唱和するなど、環境保全全般への意識向上に努めており、能古島果実園における無農薬栽培の実施、福岡市から受託している公園管理や、河川・水路・下水・道路の清掃業務等を通じて、多様な環境保全に努めている。生物の多様性については、地球環境問題の一つとして世界的に関心が高まっているが、我々が関わっている業務と生物多様性のつながりが不明確であるばかりでなく、保全や利用に関する具体的な取り組み方法、取り組みに対する評価なども明確にされていないため、政府や自治体がイニシアティブを取り、我々が取り組みやすい環境整備に努めていただきたい。
- ・ 特にありません
- ・ 業務との具体的関連についてよくわからないため。説明会等があれば出席したいと思う。
- ・ 自治体主催の「生物多様性」に関する講演会等に積極的に参加し、情報収集に努めていく。
- ・ 「生物多様性の保全」については、グループ会社内で定めた環境ビジョンの重点活動項目に、昨年 11 月に新たに加えられた事もあり、事業活動との関わりやその重要性について、社員への親等が十分とは言えない状況にある。対策としては、社内で実施している環境問題の研修に「生物多様性の保全」に関する内容を盛り込み、社員にその活動の重要性を理解させるとともに、保全効果が認められる取り組みを継続的に推進できるよう意識付けを行うこととする。
- ・ 「生物多様性とは」や「その必要性」などについて分かり易い（易しい）説明（資料など）が必要では。またそれを地道に情報発信していくことも必要。
- ・ 環境に関する研修の実施
- ・ 事業活動を行っていく中で、直接的に影響を及ぼしているか否かの判断も出来ていないため、現状では改善対策を考える状況に至っていません。
- ・ 弊社はサービス業の為活動を①品質改善と②CSR 活動としている。CSR 活動するにも、業績が安定していないとトップの CSR 活動への配慮も難しくなる為、活動も意義有る結果が表れる物に対して推進していく事となる。推進者としては、いかに結果を見せれる活動にするかを考えて行動している。
- ・ (地球環境への取り組み)
 - 1.無駄なアイドリング、空ふかしはしません
 - 2.急発進、急ブレーキはしません
 - 3.駐車中はエンジンを停止し、排ガスの減少に努めます
 - 4.使用ラップ、廃材ラップを減らします
 - 5.パレットの整理整頓と再利用を致します
- ・ (職場環境美化・安全への取り組み)
 - 1.整理整頓・清掃を推進し、一斉清掃日を決めて全員で取り組みます
 - 2.車両の洗車、清掃、点検、整備を実施します
- ・ (エネルギー削減への取り組み)
 - 1.電気の無駄遣い（ホームの照明、冷暖房の切り忘れ等）をなくす
 - 2.水道の無駄遣い（炊事場、洗面所、洗車時の閉め忘れ、出しっぱなし）をなくします”
- ・ 市による環境緑化、生物多様性の推進に対する、広報、費用を含む支援。
- ・ ” [問題点] 生物多様性に投資しても、投資効果が CSR だけでは弱く、現時点では企業活動としては成立しにくい社会構造なのではないか。
- ・ [対策] ～企業活動が成立する社会構造にする～
- ・ 生物多様性を保全する行為に対する優遇政策を強化するとともに、生物多様性を阻害する行為に対するペナルティを強化して頂きたい。”
- ・ 「生物多様性」について社内を調査し、事業活動との関わりを明確にする。
- ・ 従業員教育の実施
- ・ 「生物多様性」の認識・勉強不足でアンケート調査に答えられませんでした。研修、勉強会等の機会がありましたら、ご案内頂きます様お願い致します。
- ・ 経営層だけでなく、全従業員まで理解され、取り組みが実施される為の教育が必要と考えます。
- ・ 企業活動自体が生物多様性に与える影響については、今後の行政等からの指導や指針に対応する考えです。また、お客様の意識や思考に対応し、生物多様性に適応した事業活動を行って参ります。
- ・ 業種別に「生物多様性の関わり」を具体的に何か示せる様にして頂ければ、少しは改善出来るのではないのでしょうか。

【問 14 自由記述②】

- ・ 生物多様性に関する意識は、業種柄自社の企業活動との直接の関連性は低く関心度も低いと考える。しかし、環境問題への取組として、電力、ガソリンの使用量の削減努力、コピー用紙の使用に関しては再生紙利用の比率増加等、身近な出来ることから実践している。今後も継続しながら啓蒙活動も必要と考える。
- ・ (1.について)

地道な改善努力により環境汚染物質や CO2 の排出を抑制していくことは基より、ある程度の投資を行って環境改善をすすめていく必要もあると考える。そのため基幹事業の経営安定化を図り、環境改善の為の資金を捻出していくことが重要である。
- ・ (7.について)

福岡市のような大都市・人口密集地における生物多様性がいかにあるべきか、明確な指針が示されていない中で、無秩序な都市圏拡大が生態系を損ねている面も否めない。当社は不動産開発に際し、自然環境への配慮を十分に行っているところであるが、一企業としての取り組みには限界があり、行政が明確な指針を示し、(場合によっては規制を行う等して) 社会全体の取り組みに広げていくべきと考える。”
- ・ 生物多様性に関する理解が必要
- ・ まず社員 1 人 1 人が生物多様性について知る事が必要となると考えます。
- ・ まずは重要性を認識することから。
- ・ 会社の経営の営業種目(土木設計、積算、現場支援業務)が近年非常に苦しい状況になってきておりますので、目先の仕事に追われております。一日も早く会社の経営を安定させることが必要です。
- ・ 生物多様性に関する規定を整備する。
- ・ 事業に該当しない。
- ・ 西鉄グループの「第 12 次中期経営計画」に生物多様性保全是入っているが、まだ具体的な方針が示されておらず、積極的な行動を行うにはトップ、経営者、各都内の協力体制が望めない状態にある。
- ・ 生物多様性自体の意義と理解が、具体的に把握できないので、取り組みがでかい。参考：用語解説を見ても、噛み砕いた説明がなされていない。
- ・ 経営的余裕を確保する為に、事業活動をますます発展させていく。そうした土台が整った上で、トップの理解を得る為に、生物多様性と自社の事業活動との関連性、重要性を説明出来る様、理解・知識を深める必要がある。
- ・ 特になし
- ・ 生物多様性に関する知識の取得、パンフレットの取得など
- ・ 中学・高等学校なので、特に対策等はとっていない。教科及び部活動顧問に問い合わせたが、今後も研究・調査の予定はないとのこと。ただ、これからは考えていかないといけないねとの返事でした。
- ・ 本市においても、国の「生物多様性国家戦略 2010」を基本とし、その地域版となる「生物多様性ふくおか戦略(仮称)」の策定を進めているとなっているが、PR 不足を感じる。生物の多様性の保全や持続可能な利用には、行政の取り組みだけでなく、企業、市民、NPO などのさまざまな主体が自主的かつ連携して取り組むことが重要としてきているが、一定程度進むまでは、政府・自治体のイニシアティブが必要と考える。
- ・ 法令化(取り組みに対する、義務、規制、管理)
- ・ 生物多様性の保全に向けて、行政レベルでの積極的な政策を求めます。特に現在直面している自生 GM ナタネに危機感を感じます。遺伝子組み換えされた原料と製品の輸入禁止、及び栽培の禁止を求めます。地方自治体の条例の策定が急がれます。
- ・ 食品及び生活関連製品を会員に供給する事業において、どのように生物多様性保全をすすめ、どのようなパフォーマンスを築くかという事がまだ重要な研究テーマになっていないのが現状である。現状を踏まえ、生物多様性評価指標を設ける必要がある。これは可能な限り国若しくは国際的な規格として発行すべきと考える。それまでの間、例えば福岡市が中心になって「生物多様性保全の評価指標」の制定・普及を行って頂きたい。
- ・ 個人的には大切な問題であると認識していますが、企業活動が IT の上で成り立っており、生物多様性との関連が思い浮かびません。まず、この辺の理解を深められるようなガイド等の発行・啓蒙をお願いします。